

モスピラン® 顆粒水溶剤

(MOSPILAN WSG)

登録番号 第22583号
 種類名 アセタミプリド水溶剤
 acetamiprid
 殺虫剤分類 4A
 性状 青色水溶性細粒及び微粒
 有効年限 5年

有効成分 アセタミプリド 20.0%
 毒性 医薬用外劇物
 包装 (100g×25袋)×4箱、250g×40袋、500g×20袋

■特 長

1. 幅広い殺虫スペクトルと作物登録を有しています。
2. 高い活性があり、少ない薬量で長い残効性があります。
3. 速効性と高い浸透移行性を併せ持っています。
4. ミツバチ・マルハナバチに対して影響が少ない薬剤です。
5. 顆粒水溶剤なので粉立ちが少ない製剤です。



最新の登録内容、
SDSはこちら

■適用害虫名及び使用方法

(2021年8月11日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	アセタミプリド を含む農薬の 総使用回数	使用方法
キャベツ	コナガ、アオムシ キスジノミハムシ	1,000～ 2,000	100～ 300	収穫7日 前まで	5回以内	6回以内 〔粒剤の定植時までの 処理は1回以内、散布 および定植後の株元 散布は合計5回以内〕	散 布
	アザミウマ類	2,000～ 4,000					
メキャベツ	アブラムシ類	2,000			1回	1回	
非結球メキャベツ				2回以内	3回以内 〔土壌混和は1回以内、 散布は2回以内〕		
トレビス				1回	1回		
はくさい	コナガ、アオムシ	1,000～ 2,000		収穫14日 前まで	3回以内	4回以内 〔粒剤の定植時までの 処理は1回以内、散布 および定植後の株元 散布は合計3回以内〕	
	カブラハバチ	4,000					
ブロッコリー	アザミウマ類 コナガ、アオムシ	2,000		収穫前日 まで	2回以内	2回以内	
茎ブロッコリー	アブラムシ類	4,000					
カリフラワー	コナガ、アオムシ アブラムシ類	2,000		収穫7日 前まで	3回以内	4回以内 〔粒剤の定植時まで の処理は1回以内、 散布は3回以内〕	
だいこん	アブラムシ類 カブラハバチ	2,000～ 4,000	収穫14日 前まで	1回	1回		
	コナガ、アオムシ キスジノミハムシ ダイコンサルハムシ	2,000					

殺 虫 剤 モスピラン顆粒水溶剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
はつかだいこん	アブラムシ類	2,000～4,000	100～300	収穫14日前まで	1回	1回	散 布
わさびだいこん	コナガ	2,000		収穫7日前まで			
かぶ	キスジノミハムシ アブラムシ類			収穫21日前まで			
	カブラハバチ	4,000		収穫14日前まで			
なばな類	キスジノミハムシ アブラムシ類 カブラハバチ			収穫7日前まで			
非結球あぶらな科 葉菜類 〔チンゲンサイ を除外く〕							
チンゲンサイ		2回以内 〔粒剤の処理は1回以内、 散布は1回以内〕					
ザーサイ	キスジノミハムシ アブラムシ類	1回					
レタス	アブラムシ類 ナモグリバエ	2,000～4,000		収穫前日まで	3回以内	4回以内 〔粒剤の株元散布は1回以内、 散布は3回以内〕	
非結球レタス	アザミウマ類 アブラムシ類 ナモグリバエ	4,000		収穫7日前まで	1回	2回以内 〔粒剤の株元散布は1回以内、 散布は1回以内〕	
うり類 (漬物用)	アザミウマ類	2,000～4,000		収穫前日まで	3回以内	3回以内	
にがうり オクラ	アブラムシ類	4,000					
まくわうり	ウリハムシ						
メロン	アブラムシ類	8,000	収穫3日前まで	3回以内	3回以内		
かぼちゃ	アブラムシ類 ウリハムシ	2,000～4,000	収穫前日まで	2回以内	3回以内 〔粒剤の定植時までの 処理は1回以内、散布 および定植後の株元 散布は合計2回以内〕		
	カボチャミバエ ウリノメイガ	2,000					
きゅうり	コナジラミ類 ウリノメイガ	2,000	収穫前日まで	3回以内	5回以内 〔粒剤の定植時までの 処理は1回以内、 2%粒剤の定植後の 株元散布は1回以内、 散布、くん煙および 1%粒剤の株元散布 は合計3回以内〕		
	アブラムシ類 アザミウマ類	2,000～4,000					
	ウリハムシ	4,000					
すいか	コナジラミ類 ウリノメイガ	2,000	収穫3日前まで		4回以内 〔粒剤の定植時までの 処理は1回以内、散布、 くん煙および定植後の 株元散布は合計3回以内〕		
	アブラムシ類 アザミウマ類	2,000～4,000					
	ウリハムシ	4,000					

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法	
なす	コナジラミ類	2,000	100～300	収穫前日まで	3回以内	4回以内 〔粒剤の定植時までの〕 処理は1回以内、散布、 くん煙および定植後の 株元散布は合計3回以内	散 布	
	アザミウマ類 アブラムシ類 テントウムシダマシ類 コナカイガラムシ類	2,000～4,000						
トマト ミニトマト	2,000							
ピーマン	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	4,000			2回以内	3回以内 〔粒剤の定植時までの〕 処理は1回以内、散布、 くん煙および定植後の 株元散布は合計2回以内		
とうがらし類 (ししとうを除く)	アブラムシ類	8,000						2回以内
ししとう					3回以内 〔定植時の土壌 混和は1回以内、 散布は2回以内〕			
にら	アブラムシ類 アザミウマ類	4,000			3回以内	3回以内		
にんにく	ネギコガ アブラムシ類	2,000～4,000			2回以内	2回以内		
らっきょう	アザミウマ類	2,000			収穫14日 前まで	3回以内		3回以内 〔は種時の土壌混和 は1回以内、植付時 の土壌混和および 定植当日までの株元 散布は合計1回以内〕
たまねぎ					収穫7日 前まで			
ねぎ			収穫前日 まで	2回以内		3回以内 〔粒剤の株元散布 および土壌混和 は合計1回以内、 散布およびくん煙 は合計2回以内〕		
わけぎ あさつき								
いちご	コナジラミ類	2,000～4,000	60～150	収穫7日 前まで	2回以内	2回以内		
	アブラムシ類 カキノヒメヨコバイ チバクロバネキノコバエ							
アスパラガス	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ジュウシホシクピナガハムシ カメムシ類	4,000	100～300	収穫前日 まで	3回以内	3回以内		
わらび	ルイスコメツキモドキ							
麦類	アブラムシ類							
かんしょ	ヨツモンカメノコハムシ							

殺 虫 剤 モスピラン顆粒水溶剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法	
ばれいしょ	ジャガイモガ	2,000	100 ~ 300	収穫7日前まで	3回以内	4回以内 〔植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内〕	散 布	
	テントウムシダマシ類	2,000 ~ 4,000						
	アブラムシ類	2,000 ~ 6,000						
やまのいも	アザミウマ類 アブラムシ類 ナガイモコガ	4,000		収穫21日前まで	5回以内	5回以内		
やまのいも(むかご)								
やまのいも(種芋栽培)								
豆類(種実) (ただし、だいず、いんげんまめを除く)	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	2,000 ~ 4,000		収穫14日前まで	3回以内	3回以内		
だいず								マメシクイガ フタスジヒメハムシ カメムシ類
いんげんまめ								アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 カメムシ類
豆類(未成熟) (ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどうを除く)	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	4,000		収穫7日前まで	3回以内	3回以内		
さやえんどう								
さやいんげん	アブラムシ類	2,000 ~ 4,000	収穫前日まで	4回以内 〔は種時または定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内〕				
えだまめ	コナジラミ類 アザミウマ類 カメムシ類	4,000	収穫7日前まで					
	アブラムシ類 フタスジヒメハムシ マメシクイガ							
未成熟とうもろこし	アブラムシ類	2,000 ~ 4,000	収穫前日まで	3回以内				
とうもろこし(子実)			収穫14日前まで					
ヤングコーン		2,000	収穫前日まで	2回以内	2回以内			
にんじんあしたば	キアゲハ	4,000	収穫前日まで	3回以内	3回以内			
ふ き	コナジラミ類	3,000	収穫14日前まで	2回以内	3回以内 〔粒剤の株元散布は1回以内、散布およびくん煙は合計2回以内〕			
モロヘイヤ		4,000	収穫21日前まで	1回	1回			

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(l/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
セルリー	アブラムシ類 ナモグリバエ アザミウマ類	4,000	100～ 300	収穫7日前まで	2回以内	2回以内 [定植時の土壌 混和は1回以内]	散 布
クレソン	アブラムシ類			収穫3日前まで	3回以内	3回以内	
しそ しそ(花穂) タラゴン	アブラムシ類			収穫14日前まで	2回以内	2回以内	
くきちしゃ ふだんそう エンサイ おかひじき				収穫7日前まで			
なたね		収穫45日前まで		1回	1回		
なずな ははこぐさ みつば		収穫7日前まで					
みつば	※						
ほうれんそう	シロオビノメイガ	8,000		収穫14日前まで	2回以内	2回以内	
しゅんぎく				収穫3日前まで	1回	1回	
パセリ				※			
アマランサス (茎葉)			※				
バジル タイム チャービル ディル(葉)	アブラムシ類	4,000～ 8,000	収穫21日前まで	3回以内	3回以内		
はっか オレガノ			収穫7日前まで				
マジョラム			収穫14日前まで				
セージ			収穫21日前まで				
レモンバーム つるな			収穫14日前まで				
りんご	ケムシ類、キリガ類	2,000	200～ 700	収穫前日 まで	3回以内	3回以内	
	カイガラムシ類 モモチョッキリゾウムシ コガネムシ類成虫	4,000					
	アブラムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類 リンゴワタムシ	2,000～ 4,000					
	カメムシ類 アブラムシ類 シンクイムシ類 カイガラムシ類 カキノヒメヨコバイ ナシホソガ	4,000					

※みつばの使用時期/収穫7日前まで ただし、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで

殺 虫 剤 モスピラン顆粒水溶剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	アセタミプリド を含む農薬の 総使用回数	使用方法
おうとう	カイガラムシ類 クビアカツヤカミキリ	2,000	200～ 700	収穫前日 まで	1 回	1 回	散 布
	オウトウショウジョウバエ カメムシ類	2,000～ 4,000					
	アザミウマ類	4,000					
ぶどう	アザミウマ類 フタテンヒメヨコバイ カイガラムシ類 コガネムシ類成虫	2,000～ 4,000		収穫14日 前まで	3回以内	3回以内	
	ツマグロアオカスミカメ トビイロトラガ	2,000		収穫後秋期			
	ブドウトラカミキリ						
びわ	アブラムシ類 カミキリムシ類	2,000～ 4,000		収穫前日 まで	3回以内	3回以内	
	カイガラムシ類 ビワキジラミ	2,000					
ネクタリン	アブラムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ アザミウマ類	4,000		収穫3日 前まで	3回以内	3回以内	
もも	カメムシ類 コガネムシ類成虫 モモチョッキリゾウムシ	2,000～ 4,000		収穫前日 まで			
	コスカシバ カイガラムシ類 クビアカツヤカミキリ	2,000					
小粒核果類 (うめ、すももを除く)	アブラムシ類	2,000～ 4,000		収穫前日 まで	3回以内	3回以内	
	カイガラムシ類 クビアカツヤカミキリ	2,000					
うめ	アブラムシ類	2,000～ 6,000		収穫前日 まで	3回以内	3回以内	
	ケシキスイ類 ノコメトガリキリガ	2,000					
	クビアカツヤカミキリ カイガラムシ類						
すもも	シンクイムシ類 アブラムシ類 スモモミハバチ	2,000～ 4,000	3回以内	3回以内			
いちじく	キボシカミキリ イチジクヒトリモドキ	2,000					
	かき	アザミウマ類 カイガラムシ類	2,000～ 4,000	3回以内	3回以内		
カキノヘタムシガ カキノヒメヨコバイ カメムシ類							
かき (葉)	アザミウマ類 カイガラムシ類	4,000	収穫14日 前まで	3回以内	3回以内		

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
かんきつ	アザミウマ類 カイガラムシ類 アブラムシ類 ミカンハモグリガ ゴマダラカミキリ成虫 コアオハナムグリ ケシキスイ類 アゲハ類 カメムシ類 ミカンバエ	2,000～4,000	200～700	収穫14日前まで	3回以内	3回以内	散布
	コナジラミ類	4,000					
	ゴマダラカミキリ※	200～400	30～75				※
かりん	ナシヒメシンクイ	2,000	200～700	収穫7日前まで	2回以内	2回以内	散布
オリーブ	カメムシ類				1回	1回	
さるなし	クワシロカイガラムシ				2回以内	2回以内	
キウイフルーツ	カイガラムシ類	2,000～4,000		収穫21日前まで	3回以内	3回以内	
	キウイヒメヨコバイ						
レイシ	カイガラムシ類	2,000		収穫35日前まで	3回以内	3回以内	
ゴレンシ	カイガラムシ類	4,000					
マンゴー	アザミウマ類 カイガラムシ類	2,000		収穫30日前まで	2回以内	2回以内	
パッションフルーツ	カイガラムシ類						
くり	アブラムシ類 カイガラムシ類	4,000		収穫7日前まで	3回以内	3回以内 〔樹幹注入は1回以内〕	
	クリミガ クリシギゾウムシ	2,000～4,000					
	モモノゴマダラノメイガ	2,000					
あけび(果実) アセロラ	アブラムシ類	4,000	収穫前日まで	1回	1回	散布	
ブルーベリー	オウトウショウジョウバエ						
さんしょう(葉)	アザミウマ類 アブラムシ類						200
さんしょう(果実)	ゴマダラカミキリ幼虫						
たらのき	センノカミキリ	2,000	200～700	収穫45日前まで	3回以内	散布	
食用さくら(葉)	アザミウマ類	4,000		収穫3日前まで	1回		1回
しよくようほおずき	アブラムシ類		4,000～8,000	100～300	収穫14日前まで	3回以内	散布
食用ゆり					収穫前日まで	4回以内	

※かんきつ：ゴマダラカミキリ(200～400倍)の使用方法/主幹から株元に散布

殺 虫 剤 モスピラン顆粒水溶剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法	
食用花 (食用ぎく、 食用ミニバラ、 食用金魚草、 食用プリムラ を除く)	アブラムシ類	8,000	100～ 300	収穫14日 前まで	2回以内	2回以内	散 布	
食用ぎく	アザミウマ類	2,000						
食用ミニバラ	アブラムシ類	4,000～ 8,000	100～ 300	収穫3日 前まで	1回	1回		
食用金魚草 食用プリムラ		8,000	200～ 400	収穫14日 前まで				
茶	チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ チャノホソガ	4,000	200～ 400	摘採7日 前まで	1回	1回		
びやくし	アゲハ類	2,000～ 4,000	100～ 300	発生初期	5回以内	5回以内		
おけら	アブラムシ類	2,000						
とうき		アザミウマ類	2,000					
花き類・ 観葉植物 (ストック、りん どうを除く) ストック	アブラムシ類	2,000～ 4,000						
	アザミウマ類	2,000						
りんどう	アブラムシ類	2,000～ 4,000	100～ 700					
	リンドウホソハマキ	2,000						
樹木類 (まつ、やなぎ、 さくらを除く)	グンバイムシ類	2,000	200～ 700				5回以内 樹幹注入は 1回以内	
さくら	クビアカツヤカミキリ							
やなぎ	グンバイムシ類	2,000～ 4,000						
	ヤナギコハモグリ							
まつ		4,000						
たばこ	アブラムシ類	2,000～ 4,000	25～ 180	収穫10日 前まで	2回以内	3回以内 定植後は 2回以内		
てんさい	テンサイトビハムシ テンサイモグリハナバエ	200	ペーパーポット 1冊当り1ℓ (3ℓ/m ²)	定植前	1回	3回以内 苗床灌注は 1回以内		苗床灌注
なんてん (葉)	アザミウマ類	4,000	100～ 300	収穫21日 前まで	2回以内	2回以内		散 布
ソルガム	アブラムシ類	6,000		収穫45日 前まで	3回以内	3回以内		
まめ科牧草 飼料用とうもろこし				収穫90日 前まで				
いね科牧草			収穫30日 前まで					

⚠ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. なしに使用する場合、品種により葉に黒変の薬害を生じることがあるので注意してください。
 - ① 薬害が認められた事例がある品種
長十郎、新高、八雲及び愛甘水
 - ② 薬害が認められていない品種
二十世紀、新水、幸水、豊水、新星、ゴールド二十世紀、新興、晩三吉、愛宕、新雪、今村秋、新世紀、豊月、秋甘泉、新甘泉、なつひめ、あきづき、涼月、夏さやか、おさゴールド、王秋、秋栄、筑水、八里、多摩、南水、越後錦、秋水、長寿、幸菊、ラ・フランス、ル レクチエ、マルグリット及びヤーリー
3. ぶどうに対しては、幼果期から果粒肥大期の散布は果粉の溶脱のおそれがあるので使用はさげ、新梢伸長期から落花期及び袋かけ以降に使用してください。
4. メロン、うり科作物に対しては葉縁に薬害を生じることがあるので、使用濃度、使用量を厳守し、幼苗期や高温時の使用をさげてください。
5. かんきつに対して希釈倍数 200～400 倍で使用する場合、薬液が葉にかかるると薬害を生じることがあるので、かからないように十分注意して散布してください。
6. スモモミハバチに対して使用する場合は開花盛期から落弁期までの間に使用してください。
7. 蚕に対しては長期間毒性があるので、近くに桑園のある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
8. 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
9. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
10. 適用作物群に属する作物またはその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

11. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
12. 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
13. 使用の際は、防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
14. 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないように注意を払ってください。

治療法：本剤の中毒に対しては、動物実験で、L-メチオニン製剤、グリチルリチン製剤及びグルタチオン製剤の注射投与が有効であるとする報告もあります。

水産動植物への影響：水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。散布後は水管理に注意してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、直射日光をさげ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に、カギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

○使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

●モスピラン顆粒水溶剤の上手な使い方

- ①コナガ・アブラムシは抵抗性が発達しやすいので、作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用し、連続散布はさげてください。